



2年学年だより

発行日：令和5年1月31日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 9

“Only One” になるために

校長代理 富樫 哲一

南高等学校附属中学校では、校長代理が1年生の一人一人と面談をする機会があります。これは開校以来続いており、本校の伝統の一つとなっています。目的としては、校長代理との面談をとおして、生徒一人一人が自分が受け入れられているという実感をもってもらうため、別の言い方をすれば、生徒が安全・安心できる環境を作るための教育活動の一つとして行っているものです。

12月から始まって現在も続いているのですが、管理職となってからは、生徒と1対1で話す機会がなかなかないため、面談が行われる日の昼休みや放課後をいつも待ち遠しく思っています。

さらに今年度は校長代理面談に加えて、学年の先生方と相談して1年生の4クラスで特別講座としてもう少し話す機会をもらいました。自己紹介を含めて1クラス20分ほどの短い時間ではありましたが、10数年ぶりの「授業」ということで少し緊張してしまいましたが、生徒の皆さんに助けをもらいながら、何とか無事に終わることができました。助けてくれた1年生の皆さん、どうもありがとう！

さて、今回の学年だよりでは、1年生に行った特別講座の内容を2年生や3年生にも伝えたいと思います。1年生の皆さんは、復習のつもりで読んでもらえたらと思います。

今回の講座で伝えなかったことは、「“Only One” になるためにはどうしたらよいか」ということです。私は、世間では「“No.1” を目指すのではなく、“Only One” を目指そう！」とよく言われるのですが、では実際にはどうすればよいかということ具体的に教えてくれることがないような気が普段からしていました。

私が1年生の皆さんに提案したのは、「色んなことにチャレンジして様々な経験を積んだり、知識を増やすことで、“Only One” を目指してはどうか」ということです。例えば、保育士という仕事について考えてみると、保育士としての仕事ができることに加えて、英語を書いたり話したりすることができれば、外国人の方のお子さんを保育することも可能になったり、海外で保育士の仕事をする可能性も生まれます。さらに、会計や法律の知識もあれば、将来的には自分の保育園を経営することだってできるかもしれません。式にすると、

$$(\text{保育士}) = (\text{保育の知識や経験}) \times (\text{英語}) \times (\text{会計}) \times (\text{法律}) \times \dots$$

ということになるのでしょうか。このかけ算の項が増えるたびに、自分の希少性が高まることは間違いありません。つまり、“Only One” にどんどん近づくことができると考えることができるのではないのでしょうか。

もちろん、皆さんが何かの分野で No.1 を目指そうとすることを否定するものではありません。この話を、皆さんのこれからの生き方の一つのサンプルとして考えてもらえたらうれしいです。

今年もよろしくお願ひします

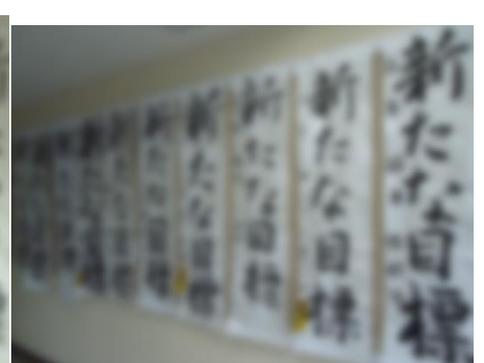
今年も校内書き初め展が行われ、教室や廊下が、華やかで清々しい雰囲気になりました。

書き初めは日本の伝統的文化の一つで、年が明けて初めて毛筆で書や絵を書く行事のことです。一月二日に「若水（わかみず）＝縁起を祝って元日の朝早く井戸から汲む水」で墨をすり、一年の願ひや決心、抱負などを書きます。もとは宮中の行事でしたが、江戸時代以降、庶民にも広まりました。

今年の課題は「新たな目標」。行書に挑戦しました。「中心線がそろっている」「勢いがある」「一画一画のつながりが分かる」「バランスがよい」など、互いの書き初めの評価的を射ているものばかりでした。ちなみに、高校国語科の西澤 憂先生が、2年生全員に行書の名前のお手本を書いてくださいました。名前が堂々としていると、書き初めも力強い印象になります。

個人の新年の目標として「体力をつける」「ポジティブ思考」「提出物をすべて期限内に出す」「部屋を片付ける」「英検〇級合格」などが挙げられているクラスもありました。常に目標を意識して、継続して行動していることが大切だと思います。

あと二か月で、皆さんは最上級生になります。南高附属中の顔として活躍の場が増えます。これまで、先輩方の背中を見て学んできたこと、やってみたく思っていたことに挑戦してください。



金賞受賞の皆さん

- | | | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 【1組】 | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん |
| 【2組】 | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん |
| 【3組】 | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん |
| 【4組】 | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん | ■■■■さん |

百人一首大会

1月24日(火)に、こちらも恒例の二年百人一首大会が行われました。

柔道場は熱気に包まれ、みなさんが得意とする「ちはやふる」や「うかりける」が読まれると、大きな歓声が上がりました。「一字決まり」や上の句で取れる札も増えて、迫力ある対戦となりました。当日は、百人一首の読み手を、高校国語科の友田信一先生が引き受けてくださいました。朗々としたお声とリズムは心地よく、百人一首大会がいつそう楽しいものとなりました。(競技カルタの場合、読み手は非常に大切で、細かい決まりがあります。友田先生はそれらをすべて本格的に修得されています。)

結果発表では山形先生作の愛情あふれる表彰状がすべてのクラスに授与され、そこでもまた一段と盛り上がりました。

優勝：1組 準優勝：4組

「JAXA 宇宙開発講座」

1月21日(土)のEGG講座では、JAXA 広報部の矢部あずささんに来ていただき、JAXAの事業や、宇宙開発の最新の様子、宇宙飛行士等についてお話を伺いました。

みなさんからの感想を少し紹介します。

- ・宇宙に関わる仕事と言えば宇宙飛行士や研究者だと思っていたけれど、広報や地上から指令を出す人、宇宙食を考える人などさまざまな分野の人たちの協力が必要だということがわかった。
- ・宇宙に関する仕事は理系の人が多いと思っていたが、文系の人も活躍しているというのは意外だった。英語力が大切だということは納得した。

宇宙に興味がある人も、それほどではない人も、将来の進路を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。質問コーナーでは宇宙エレベーターや宇宙飛行士の生活などにも話が及びました。矢部さんは、みなさんからの質問に、一つひとつ根拠を示しながら丁寧に答えてくださいました。

【ひめのひとりごと】冬休みが終わり、あっという間の1月でした。2月は適性検査や高校入試にともない、家庭学習の日も増えます。ペースをくずすことなく、見通しをもって毎日を過ごしましょう。まさに「自律」の力が問われるときです。